

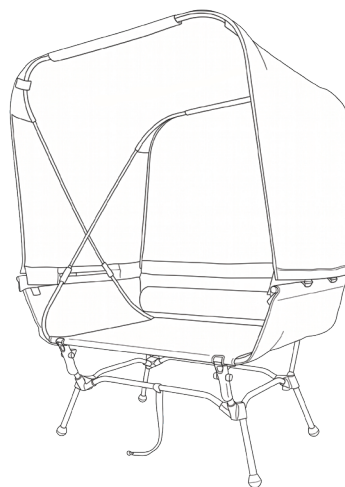


Tarpchair タープチェア

Creative Direction by Honda

このたびはお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書は〈タープチェア〉を正しくご使用
いただくためのガイドブックです。

ご使用前に本書をよくお読みになり、内容を理解さ
れた上でご使用くださいますようお願いいたしま
す。また常にお手元においてご使用されることをお
勧めいたします。



注意事項

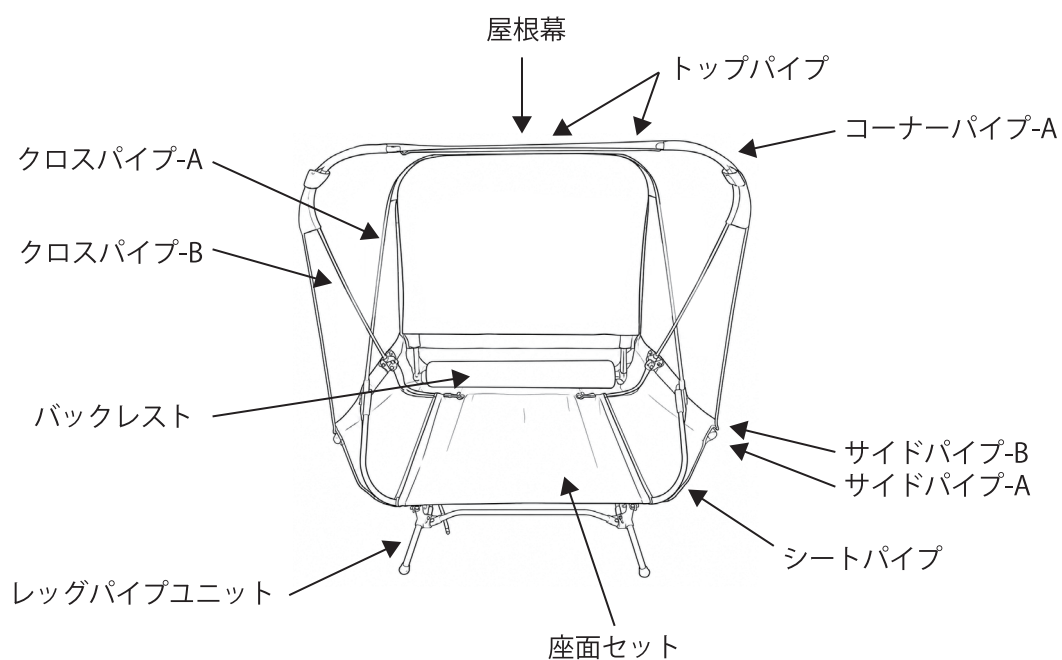
ご使用上の注意点

- ・ 本製品は常設用ではありません。
- ・ 改造しないでください。また、お客様による修理も行わないでください。
- ・ 必ず平坦な場所で使用してください。傾斜地や段差のある場所での使用は、フレームの歪みや転倒を招くおそれがあります。
- ・ 本製品は椅子としてのみ使用してください。踏み台や荷物置きなど、他の用途では使用しないでください。
- ・ 荷重が偏らないよう中央に座ってください。偏ると転倒しやすくなります。
- ・ 離席する時は、必ずペグ等で固定するか、畳んでください。
- ・ 設営・収納の際は指挟みに注意し、手袋を着用してください。
- ・ お子様だけで使用しないでください。必ず大人が付き添ってください。転倒事故につながるおそれがあり、大変危険です。
【対象年齢の目安：6歳以下はお子様だけの使用不可】
- ・ 耐荷重 170kg（静荷重）／使用人数：大人2名まで（耐荷重内に限る）
※お子様を含め3名以上で座ると、耐荷重内であっても重心が不安定になり、転倒するおそれがあります。
- ・ 内部での跳躍、飛び乗り、立ち上がり、過度な後傾はしないでください。転倒や製品破損によるけがの原因となるおそれがあります。
- ・ 火気の近くで使用しないでください。引火するおそれがあります。
- ・ 強風、荒天、降雪時は使用しないでください。製品が飛ばされたり、破損したりするおそれがあります。
- ・ 風がある時は、必ずペグ※1 または重し※2 で固定してください。不意の飛散事故を防ぐため、ペグが打てない場所では重しで確実に固定してください。
※1 ペグとは、テントやタープを地面に固定するための杭のことです。
※2 重しは「注水式ウェイト」1個あたり20L（20kg/w）程度を目安に使用してください。

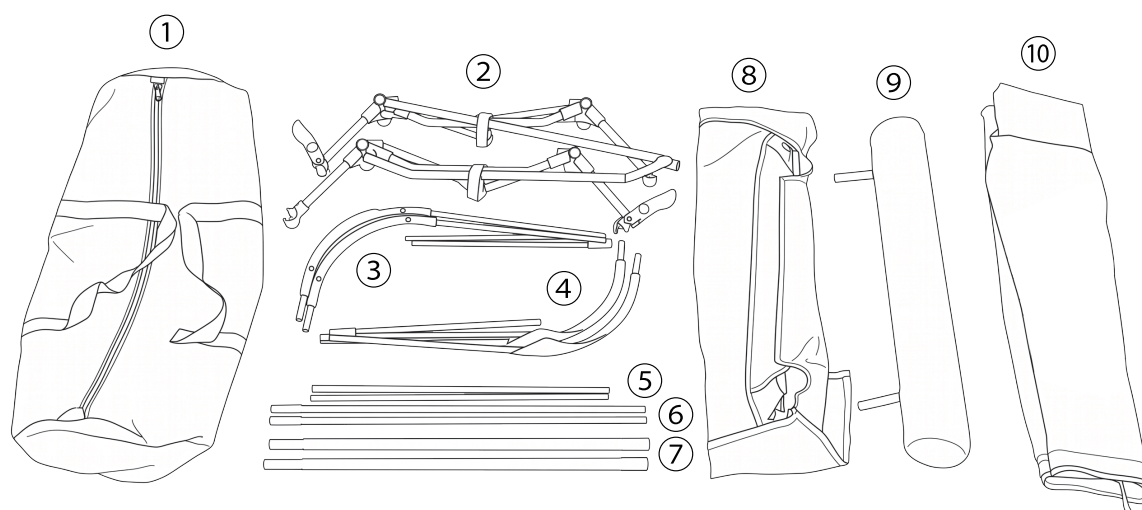
お手入れ・メンテナンス

- ・ フレームや生地部品に付着した泥や砂は、乾いた布または柔らかいブラシで落としてください。
- ・ 汚れがひどい場合は、真水を含ませた柔らかい布を固く絞り、拭き取ってください。洗剤を使用すると、屋根幕の撥水効果が低下する場合があります。
- ・ 屋根幕などの生地のシワをのばす場合は、あて布を使用し、アイロン掛けください。
- ・ 完全に乾燥させてから保管してください。濡れたままの保管は、カビや色移り、サビの原因となるおそれがあります。
- ・ 雨や夜露で濡れた場合は、風通しの良い日陰で完全に乾燥させてから収納してください。
- ・ 直射日光や高温多湿を避け、屋内の乾燥した場所で保管してください。

各部名称

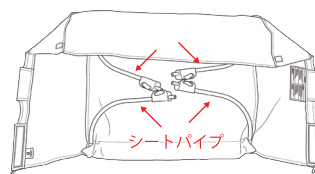


内容物



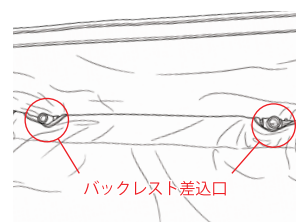
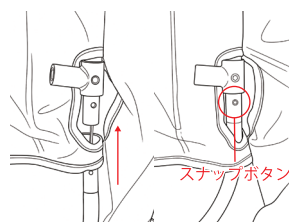
① キャリーバッグ	× 1	⑥ サイドパイプ-B	× 2
② レッグパイプユニット	× 2	⑦ サイドパイプ-A	× 2
③ クロスパイプ-A	× 2	⑧ 座面セット	× 1
④ クロスパイプ-B	× 2	⑨ バックレスト	× 1
⑤ トップパイプ	× 2	⑩ 屋根幕	× 1

座面の組み立て



1 シートパイプをつなげる

座面をひろげ、シートパイプをつなげます。
奥側のみスナップボタンが付いています。「パチン」と音がしてボタンがしっかり出ることを確認してください。

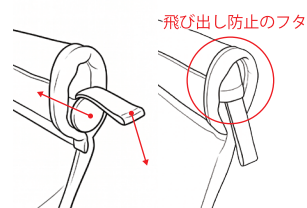
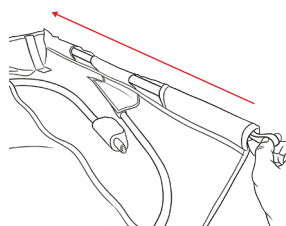


※注意※

バックレストの差込口が、座面生地の切り欠きから突き出していることを必ず確認してください。生地にかぶっていると、バックレストを取り付けられなくなります。

2 サイドパイプを通す

サイドパイプ A（直線パイプの太い方）を、座面生地の上端の筒へ通し、奥までしっかりと差し込みます。その際、生地から外れないようご注意ください。

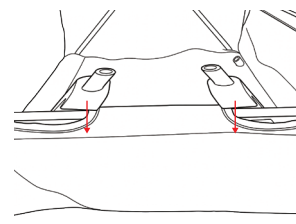
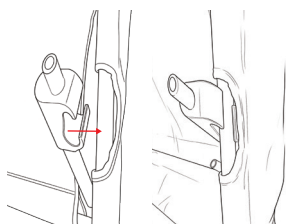


★ポイント★

奥まで差し込んだら、ツマミリングを引っ張りながらパイプエンドを押し込み、飛び出し防止のフタがかぶるようにしてください。

3 パイプにクリップをはめ込む

生地でおおわれていないパイプが見えている箇所を、クリップ A・B にはめ込みます。はめにくい場合は、クリップを前後に動かし、パイプとクリップの溝が平行になる位置を探してください。



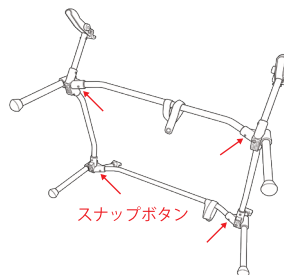
★ポイント★

サイドパイプをクリップにはめ込んだら、さらに一段下方向に押し込み、「コツン」と底に当たれば OK です。

脚の取り付け

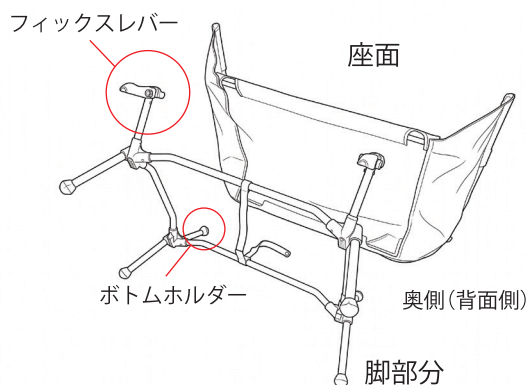
1 脚部分（レッグパイプ）を組み立てる

レッグパイプ、およびビーム L・S を組み付けます。



※注意※

4か所あるスナップボタンが
しっかり飛び出していることを
確認してください。

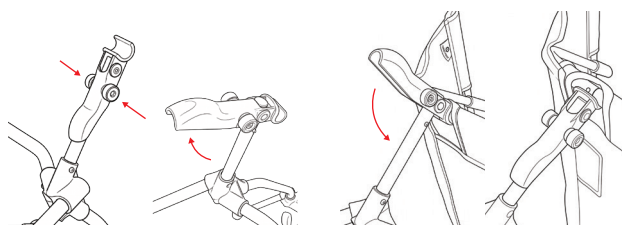
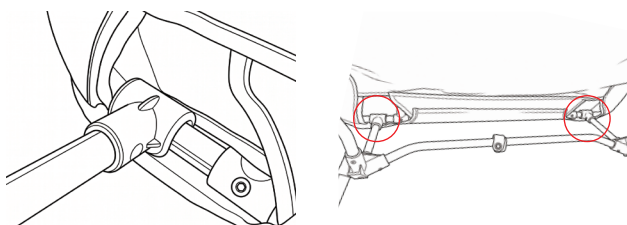


※注意※

座面と脚部分の結合の際に、座面を寝かせた状態では組み立てられません。
奥側(背面側)が床に接するよう立てた状態で脚を取り付けてください。
また脚部分のフィックスレバーは前面に使用するため、このときに上に向くようにしてしてください。

2 ボトムホルダーをはめ込む

ボトムホルダーを、シートパイプの継ぎ目位置にはめ込み、
フィックスレバーでレッグパイプユニットを固定する。



シートパイプがズレないように支えながら、
フィックスレバーを解除状態（銀色ボタン
を人差し指と親指で同時に押す）に
します。

次に、シートパイプのカーブ部分を力強く
引き上げながら、白丸印を目安にレ
バー受け部へはめ込み、**レバーを強く押し込んで「カチッ」とロック**します。

※注意※

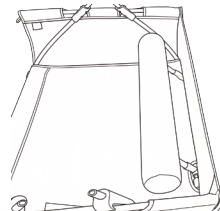
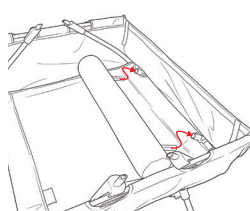
しっかりロックされていることを必ず確認してください。ロックが不完全な場合、使用中に脱落して座面が転倒する恐れがあります。

★ポイント★

生地が馴染んでいない新品時は特に張り具合がきついため、シートパイプを力強く引き上げるのがコツです。

3 バックレストの装着

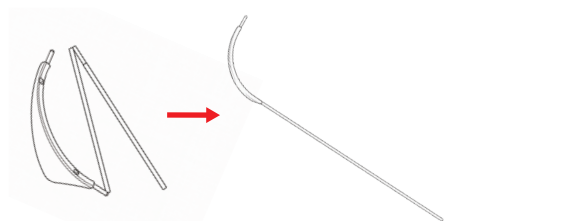
座面奥の差し込み口に、バックレストを装着します。



屋根フレームの取り付け

1 ルーフパイプをつなげる

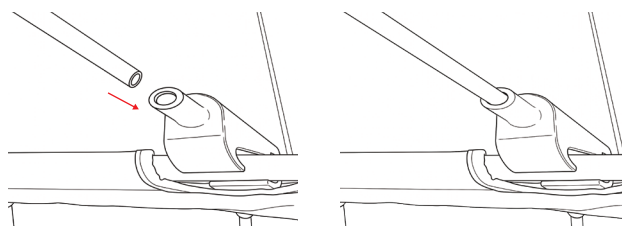
ルーフパイプはゴムでつながっている状態で分割されているので、A×2本、B×2本をそれぞれつなぎます。



2 ルーフパイプをクリップに差し込む

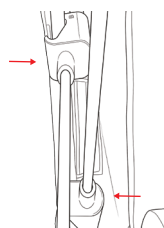
ルーフパイプをクリップに差し込みます。

この時、必ず「A」は「A」同士、「B」は「B」同士の組み合わせになるようにし、4本とも奥までしっかりと差し込んでください。



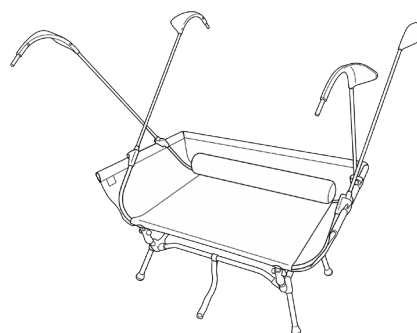
<注釈>

クリップにも「A」「B」の表示があります。
同じ「A」でも左右で向きが逆になります。



※注意※

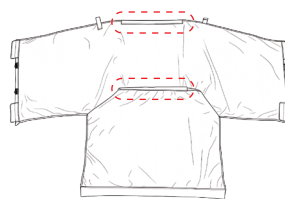
クリップの「A」「B」は交互に配置されています。無理にクロスさせると破損の原因となります。



屋根幕の取り付け

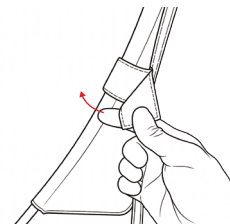
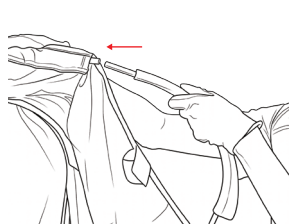
1 屋根幕にルーフパイプを通す

屋根幕を裏返し、天面を上に向けて広げます。
屋根幕天面の裏側にある前後 2 か所の筒部分に、「TOP」と表示のあるルーフパイプを通します。



2 ルーフパイプをルーフコーナーに差し込む

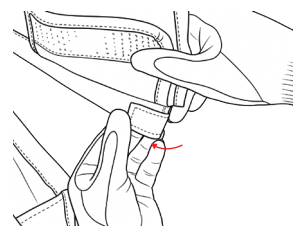
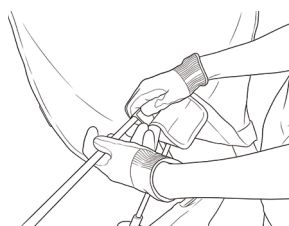
屋根幕の前後に注意して、ルーフパイプをルーフコーナーに差し込みます。4 か所差し込んだら、ルーフコーナーを屋根幕についているベルクロベルトで仮止めます。



※注意※
差し込んだルーフパイプが
ルーフコーナーから外れないよう
注意してください。

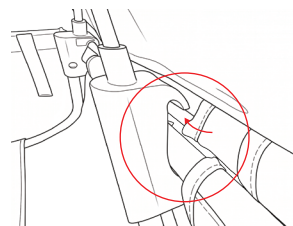
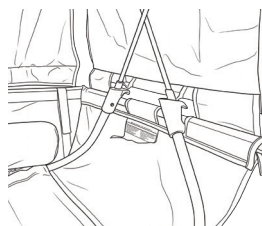
3 屋根幕側面にサイドパイプを差し込む

屋根幕の側面幕をクロスパイプの外側に出し、「SIDE」と表示のあるサイドパイプ B を側面幕下端の袋部分へ後方から差し込みます。
通したら、ベルクロフラップを閉じます。



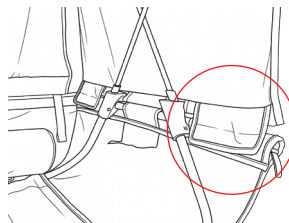
4 サイドパイプ B を取り付ける

サイドパイプ B を、クリップ 2 か所の凹み上側にはめ込みます。
この時、少し強めにテンションをかけながら作業してください。



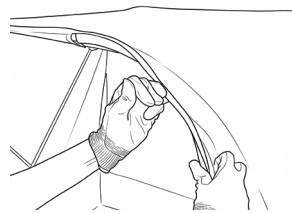
5 ベルクロフラップを留める

続いて、側面幕下端のベルクロフラップ 4 か所を、下方向に引っ張りながら留めます。

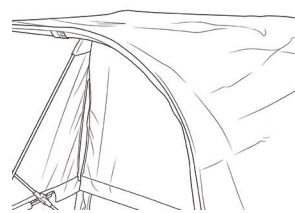


6 ヘリをベルクロベルトで留め直す

屋根幕手前側のコーナー部分にある「ヘリ」
(生地の上に縫製されている黒いフチ)が、
ルーフコーナーにしっかり掛かるように引っ張り、
ベルクロベルトを留め直します。

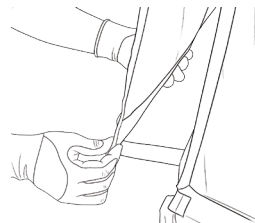


ヘリが隠れるようにヘリテープで巻込み
ます。



7 背面のベルクロを留める

最後に背面幕を、座面後方上端のベルクロに留めて
完成です。

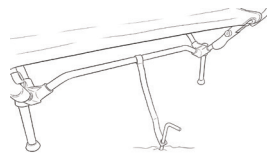


★ポイント★

背面幕を座面後方のステーに留める
ことで、通気性を確保することも
可能です。

チェアの固定

風対策として、ビームの結束ベルクロ先端にハト
メ穴があります。必要に応じて市販の杭 (ペグ)
等をご活用ください。



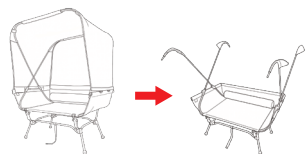
<注釈> 杭は本製品に付属していません。

分解 / 収納 (組み立ての逆の手順になります)

※収納前に砂・泥・水分を取り除き、本体を十分乾燥させてください。

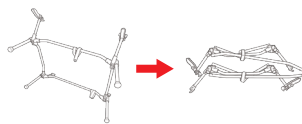
STEP1 屋根を取り外す

1. 背面幕ベルクロ解除
2. 側面ベルクロ解除
3. 屋根幕を取り外したたむ
(サイドパイプ B は取り付けたままでも可)
4. クロスパイプを折りたたむ

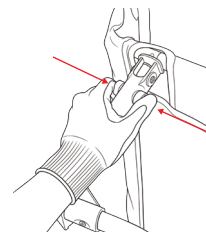


STEP2 脚を取り外す

1. バックレスト取り外し
2. フィックスレバー解除
3. ボトムホルダー取り外し
4. レッグパイプユニット結束

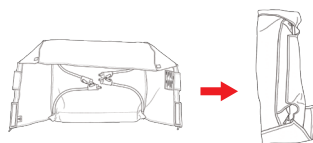


フィックスレバーを押し込みリリースボタン
(銀色) を押すとロックが解除されます。



STEP3 座面を分解する

1. サイドパイプ A 取り外し
2. シートパイプを折りたたむ
3. 座面生地をたたむ



STEP4 バッグに収納する

1. 折りたたんだ座面を収納
2. パイプ類を収納
3. バックレストを収納
4. 屋根幕を収納



製品保証について

製品保証概要

本規定は、本製品の製造・販売元である株式会社シナノトレーディングが、以下に定める期間および条件において無償での修理・交換を行うものです。

- 保証期間** 本製品の保証期間は、お客様のご購入日から1年間です。
- 保証の内容** 保証期間内に、取扱説明書や本体貼付のコーションラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で、設計上または製造上の不備に起因する破損・故障が発生した場合は、無償で修理または交換を行います。
- 有償対応となる場合** 保証期間内であっても、以下に該当する場合は有償での対応となります。
 - 不適切な使用・設置：傾斜地や段差のある場所での使用、椅子以外の目的での使用、内部での跳躍・飛び乗り・立ち上がり・過度な後傾による故障
 - お子様だけの使用：大人の保護者が付き添わない、お子様だけの使用による事故や破損
 - 荷重・定員の超過：制限（耐荷重 170kg・2名まで）を超える使用、または不適切な着座バランスによる変形・破損
 - 自然要因・環境：風による転倒・飛散、潮風が当たる場所での放置、多湿環境下での保管、紫外線による経年劣化、濡れたままの保管によるカビや腐食
 - 外部要因・天災：火災、地震、水害、落雷等の天変地異、ならびに公害や第三者の故意・過失による損傷
 - 管理不足・改造：異常を放置して使用を続けたことによる故障の拡大、純正以外の部品使用、または無断での改造・修理
 - その他：機能や安全に影響のない外観上の変化（生地の変色や地味の変化による歪み等）
 - 国外での使用：本製品は日本国内での販売・使用を前提としているため、日本国外での使用による故障等
- 責任の範囲** 本規定は、本製品単体の無償での修理または交換を行うものです。
- 保証の受け方** 保証を受ける際は、必要事項を記入済みの本保証書をご用意のうえ、販売店または株式会社シナノトレーディングのカスタマーサポートまでご連絡ください。

製品保証について

タープチェア保証書記入欄 ※本紙は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

製品名：タープチェア **保証期間：**ご購入日から1年間

ご購入日： 年 月 日

お客様情報：

- お名前
- ご住所
- お電話番号

販売店名：